

脳脊髄液中の睡眠・覚醒関連物質であるオレキシン等の測定研究

日中の耐え難い眠気と頻回な居眠りを来す病気であるナルコレプシーでは、脳脊髄液中の神経ペプチドであるオレキシンが健常者の1/3以下に減少していることが明らかになりました。その減少の機序はまだ十分には明らかになっていませんが、ナルコレプシーやそれ以外の眠気を来す疾患にてもオレキシンや視床下部の神経ペプチドがその眠気をもたらすメカニズムに関与している可能性があります。また意識に減損のある場合の検討項目の一つでもあると考えています。本研究では意識に減損のある患者においてその脳脊髄液中オレキシン等の測定を行い、オレキシン低下と意識の減損の程度を検討します。この研究のための脳脊髄液採取は行わずに、診断確定の諸検査等を目的として脳脊髄液の検体を得た場合に、その一部を使用してオレキシンや神経伝達物質等の測定を行いたいと考えています。なお現在使用している測定キットは研究目的に限定されており、臨床診断等を行うことは出来ず、参考値となることをご理解下さい。

意識に減損のある方のオレキシン値の評価のために、脳脊髄液を送って頂ければ測定しますので、ご連絡をお待ちしています。測定は無料で行わせて頂きます。なお、患者様個人からの直接のお問い合わせには応じかねますので、ご了承ください。

- 検体の量としては 1-2ml が必要となります。
- 検体の保存は -10°C以下の冷凍保存 が好ましく、また輸送に関しては、-10°C以下の冷凍宅急便 で送って下さい。到着は 毎週金曜日の9-17時 であれば、連休等を除いて受け取り可能です。
- 当研究へのご参加にあたっては、患者の同意と共に、提供元施設の長の受諾を得ることが必要となります。実施計画書、説明・同意文書、提供の届出書、提供の記録の書式をご用意しておりますので、お問い合わせいただいた際に送付します。

お問い合わせ先

〒305-8550 茨城県つくば市春日1-2 高細精医療イノベーション棟502

国際統合睡眠医科学研究機構(WPI-IIIS) Human Sleep Lab 神林 崇

TEL: 029-859-1858, FAX: 029-859-1290

E-mail: kanbayashi.ta.fn@u.tsukuba.ac.jp